**早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「イメージ文化史」主催**

**2015年度　ワークショップ**

**「マンガ、あるいは「見る」ことの近代」第8回**

「見る」ことの近代とは何か

**日時　　2015年11月21日（土）　13：00～17：30**

**場所　　早稲田大学戸山キャンパス36号館3階382番教室**

◆第1部（13:00～15:10）

中田健太郎（フランス現代文学研究／マンガ批評：國學院大學・日本大学）

　　　　　　　　　視覚的語りの近代――「読む」ことと「聞く」こと

伊藤剛（マンガ研究：東京工芸大学）

　　　　　　　　　多段階フレームでマンガをとらえる――「コマわり」から「目の光」へ

◆第2部（15:20～17:30）

夏目房之介（マンガ研究：学習院大学）

「表現論」から20年――マンガと近代について考えること

鈴木雅雄（フランス現代文学・芸術研究：早稲田大学）

観察者の行方――ポスター、絵本、ストーリー・マンガ

昨年秋から続けてきたこのワークショップも最終回となりました。「マンガ表現論」の開拓者である夏目房之介さん、マンガ研究の画期となった『テヅカ・イズ・デッド』の著者として知られる伊藤剛さん、マンガ批評で幅広い活動を繰り広げている中田健太郎さんを迎え、「マンガと近代」をめぐって展開してきたこの企画を総括します（今回は企画者の鈴木も話をさせてもらいます）。ぜひご来場ください!!

お問合せ先：総合人文科学研究センター研究部門「イメージ文化史」

imagebunkashi@list.waseda.jp